



阿部麻耶

武蔵野音楽大学器楽科を経て、東京ミュージック&メディアアーツ尚美ディプロマコース修了。第2回仙台フルートコンクール入選。第16回日本クラシックコンクール第3位(最高位)第14回フルートコンベンションコンクールアンサンブル部門にて第1位(全賞)を受賞。第16回フルートコンベンションコンクールピッコロ部門第3位。現在室内楽、オーケストラを中心に活動し、後進の指導にもあたっている。フルートアンサンブルFIORE、ルボールのメンバー。2011年FIOREの1stアルバム「La memoria del FIORE」をリリース。早稲田大学高等学院非常勤講師。故渡辺国安、土方逸郎、高久進、野口龍、清水信貴、マスタークラスにてT.ハッチンス、M.ファウスト各氏にピッコロを時任和夫氏に師事。

<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>
<p>4</p>	<p>5</p>	<p>6</p>
<p>7</p>	<p>① <i>pp</i> を吹くときの音程を下げる</p> <p>② <i>pp</i> を吹くときの音下がりを防ぐ</p> <p>③ <i>ff</i> のときの音程を下げる</p> <p>④ <i>pp</i> のときの音程を上げる</p> <p>⑤ <i>f</i> のときの音程を下げる</p> <p>⑥ 音程を下げる、音の立ち上がりを良くする</p> <p>⑦ 音程を上げる</p>	



山元康生

1980年、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。同年6月渡米し、ニューヨークでのジュリアス・ベーカー氏のマスタークラスに参加し、ヘインズ賞を受賞。その後2ヵ月間にわたってベーカー氏に師事。1982年、宮城フィルハーモニー管弦楽団(現・仙台フィル)に入団。1991年より、パリ・エコールノルマル音楽院に1年間学ぶ。1997年から度々韓国に招かれマスタークラスやコンサートを行なう。また、2006年にはギリシャとブルガリアにてマスタークラスとコンサートを行なう。2002年、Shabt Inspiration 国際コンクール(カザフスタン)、2004年、Yejin 音楽コンクール(韓国)、仙台フルートコンクールに審査員として招待される。宮城学院女子大学芸学部音楽科非常勤講師。本誌に「名曲練習ノート」を連載中。

<p>1</p>	<p>2</p>
<p>3</p>	<p>4</p> <p>トリル運指</p>

- ① カルメンの間奏曲の最後の音のような、*pp* の第3オクターブGを吹く時に使うと容易になります。音程がやや高めになりますので、修正に気をつけてください。
- ② 第3オクターブCは *pp* で吹くと音程が低くなりやすいので、この替え指を使うと発音しやすく、音程が上がります。
- ③ 右小指を離すだけで第3オクターブのEを楽に発音できます。また、*f* の時に音程を下げるためにも使います。特にEメカニズムの付いていない楽器をお持ちの方には、大変ありがたい替え指になります。
- ④ 第3オクターブE ↔ F♯のトリルは親指を使うのが普通ですが、フランスのフルーティストは、この替え指のほうを好みます。マクサンス・ラリュエ氏は生徒が親指でトリルしていると必ずと言っていいほど、この指に替えさせていました。親指でのトリルより音程の罅隔が広くなり、派手に聞こえます。また、ピッコロでは、こちらのほうが断然きれいに響きます。



杉山 翼

10歳よりフルートを始める。東京音楽大学付属高等学校を経て東京音楽大学を卒業後、渡独。ドイツ国立シュトゥットガルト芸術大学大学院を修了。Stuttgarter Kammer Orchesterの一員として Rheingau Musik Festival 等に出演。フルートを植村泰一、三上明子、タヴィデ・フォルミザーノの諸氏に師事。芸劇ウインドオーケストラアカデミー第一期生、洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団正団員。ムラマツフルートレッスンセンター講師。

1

FLUTE



2

Piccolo



- 1 第3オクターブF#の指で、*pp*が出しやすい。先日あった芸劇ウインドオーケストラの演奏会で、『火の鳥の女王たちの Rondó』の最初のソロで使用してみました。
- 2 ピッコロのF#の指使いです。自分のピッコロはいつもF#が少し低くなってしまおうのですが、この指を使うと音程が少し上がり、なおかつ音も出やすいので使っています。

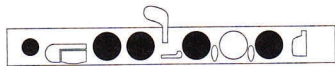
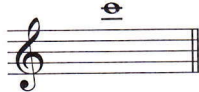


山村有佳里

ブラハ芸術アカデミー、マーストリヒト音楽大学大学院をフルートで修了。国家演奏家資格取得。英国ウェールズ王立音楽大学大学院ピッコロ科にて学ぶ。第12回バコリ国際音楽コンクール第一位受賞。第10回「エウテルペ」国際音楽コンクールでフルート、ピッコロにて第1位、併せてジャーナリスト賞受賞。12年の欧州生活の後、国内外で活動する。CD「Vieille Chanson」発売中。

1

Piccolo



2

Piccolo



3

Piccolo



- 1 2 主に音程を上げるため。特に2オクターブ目C、C#の音を *p* でインチューンで吹きたいときなどにおすすめ。
- 3 吹奏楽などでよく出てきますが、低くなりがちなの音で大きな失敗がなく、明るく聞こえるので使えます。(1オクターブ目の下げ方も良い替え指があればいいのにねえ……)

①～③とも、スケール、ピッコロ曲、オーケストラ、吹奏楽で平均的に問題のある音です(運指が変わるところで指が崩壊しないように)。また、トリルキィを使った替え指は、メーカーによって使えないこともありますので、注意してくださいね。

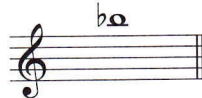


Photo: 土居政則

丸田悠太

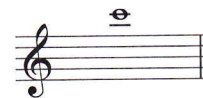
新潟県新潟市出身1982年生まれ。フルートを榎本正一、浅利守宏、大友太郎、佐久間由美子に師事。国立音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。第7回JILA音楽コンクール 管打楽器部門 第2位。第15回ヤング・ブラハ国際音楽祭など他にもソリストとして多数出演。東京ニューシティ管弦楽団を経て現在、東京佼成ウインドオーケストラピッコロ&フルート奏者、副コンサートマスター。風の五重奏団メンバー。昭和音楽大学非常勤講師。

1

FLUTE
Piccolo

2

Piccolo



- 1 『シンクス』(ドビュッシー作曲)の8小節目終わりのB \flat など、*pp*で吹く場合。
- 2 ピッコロでよく使う、弱く吹きたいときの替え指。『ロメオとジュリエット組曲第2番』(プロコフィエフ作曲)の第7曲、『ジュリエットの墓の前のロメオ』の最後の *ppp* での伸ばしなど。



榎本吉雄

1969年国立音楽大学に入学、翌年東京文化会館オーディションに合格。在学中より様々なコンサートに出演。1973年同大学を卒業、翌74年NHK 洋楽オーディションに合格。1977年よりこれまで、数多くのリサイタルを開催。NHK・FM「午後のリサイタル」に度々出演。2006年ニューヨークのカーネギーホール（リサイタルホール）にて邦人とアメリカ人のフルートの為の作品を演奏。2013年度まで東京吹奏楽団の楽団長兼フルート奏者を務める。

- 1 2 フルートの音で一番不安定な音、音程を下げる。
- 3 *pp*でこの音を延ばす時に音程を上げる。
使用例:『シシリエンス』(パラディス作曲) など
- 4 この音で連続するスタッカートの際、出しやすい。
使用例: 吹奏楽などではあまりないが、バッハの管弦楽組曲第2番の『パディヌリ』など。
- 5 音程を下げる。かなりの確率で使用する。
- 6 音を下げたい時に使用する。
- 7 8 この音も高くなりやすいので、音程を下げるためにどちらかを使用する。

替え指を使用する前に、合奏する時には自分が和音のどの音を出しているのかを考えましょう。

1

FLUTE

2

FLUTE

3

FLUTE

4

FLUTE

5

FLUTE

6

FLUTE

7

FLUTE

8

FLUTE

野口博司

高校3年よりフルートを始める。東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。フルートを故小泉剛・故吉田雅夫両氏に師事。東京都交響楽団元首席フルート奏者。

他にもたくさん! オンラインで紹介しませう

THE FLUTE ONLINE

主に、アンブシュアに負荷をかけないためのピッチ調整のための替え指です。

- 1 (C足部管)小指を離す / (H足部管)ギズモアルテスによるフィンガリングだと、ピッチが高すぎるのを調整するため。
- 2 小指は押さえる・押さえないどちらも可。発音とピッチを安定させるため。
- 3 *p*で吹くときに。小指を離す。
- 4 C~Dのトリルで、押さえている音がC音の場合。
- 5 E~F#のトリルで、押さえている音がE音の場合。
- 6 *p*で吹くときに。小指を離す。ピッチが狂っているのは、低いから!



1

FLUTE

2

FLUTE

3

FLUTE

4

Piccolo

トリル運指

5

Piccolo

トリル運指

6

Piccolo

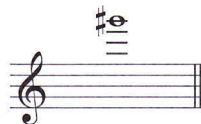


立花雅和

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コースを卒業後、パリ・エコールノルマルへ留学。帰国後フリーのフルート奏者として演奏活動を行なう。毎週YouTubeチャンネルにフルートQ&A等、フルートに関する様々な動画を配信。メールマガジン、Skypeレッスン等、ITを駆使した活動を展開中。これまでに樋口健、森圭吾、阿部博光、ジャン・フェランディ各氏に師事。札幌フルート協会常任理事。

2

FLUTE



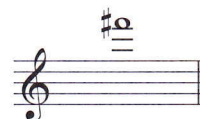
3

FLUTE



1

FLUTE



4

FLUTE



薬指で少し押さえる

- 3オクターブ目のF \sharp の音程を下げる替え指。オーケストラや吹奏楽などのアンサンブルで演奏する場合は、よほど *pp* で吹くという時でない限り、3オクターブ目のF \sharp はだいたいこの運指を使っています。ピッコロの場合もほごちらです。*ff*で吹く時に上ずったりしなくなるので、安心して思いっきり吹けるようになります。F \sharp →Hと4度上がる時にも重宝します。
- 3オクターブ目のG \sharp の音程を下げる替え指。①の運指と同じく、アンサンブルにおいて欠かせない運指です。よほど速いパッセージでない限り、普通に吹く時でもこの運指を押さえていることが多いです。3オクターブ目のG \sharp はちょっと出づらい音ですが、この運指だと出しやすくなる気がします。僕のピッコロはこの替え指を使うと低くなりすぎるみたいで、ピッコロを吹く時はあまり使いません。
- 2オクターブ目のC \sharp の音程を下げる替え指。音程が高くなりやすいC \sharp は、ほぼすべての指をキから離すため楽器の支持も不安定になりやすいですが、この運指はその問題を一気に

解決できます。音色は多少悪くなるので速いパッセージの中でしか使えませんが、例えばモーツァルトのD-durのコンチェルトの出だしで、ぜひこの替え指を使ってください。動かす指が少なく、指がバラけることによるミストーンのリスクも減り、練習も簡単。一石二鳥どころか三鳥も四鳥もお得になる替え指です。

- 3オクターブ目のEの音を *pp* で吹く時に、トーンミスしてしまうリスクを減らしたり、ディミュエンドする際に音程が下がるのを防ぐ替え指。僕のフルートはEメカが付いていないこともあって、こういった工夫に迫られるのかもしれない。使いどころはやはりオーケストラ等のアンサンブルの時が多いです。ベートーヴェンの『交響曲第7番』第一楽章、冒頭フルートソロの前でEが連続するところや、第九の第四楽章、2ndパートに出てくる *pp* の2拍3連、ドヴォルザークの『交響曲第九番「新世界より」』の最後のロングトーンなどなど。トリルキはほんの少し触れるように、薄くトーンホールを開く程度にしてください。トリルキを完全に押さえてしまうと音程が高くなりすぎるので注意です

おわりに

プロ奏者の皆さんからのアドバイスをまとめると――

“替え指は使ってもいい？ それともNG？”という問いへの答えは

**‘まずは音色が優先、
そのうえで音程や運指の問題を解決する手段として使うならOK’**

ということになりそうです。

今回教えていただいたとっておきの替え指は、“とっておき”の場面で活用できるよう、チェックしてくださいね！

最新情報はフルートオンラインで！ 誌面に掲載できなかった替え指も紹介しています

THE FLUTE ONLINE

www.alsoj.net/flute/

